2004.9.17 神戸新聞　　個人名・写真はカットしています

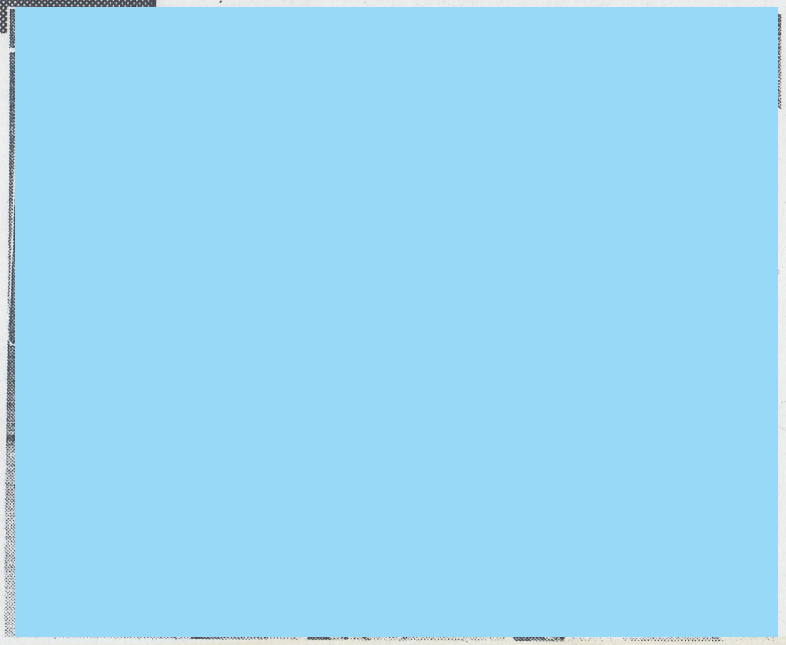
車いすでストリートダンス挑戦

高砂の中学2年 ■君

輝きたい舞台で

加西の高校生らとグループ 25日に初出演

脳性まひで車いす生活を送る高砂市の■中二年・■君（一三）が、加西市の高校生らとストリートダンスグループを結成し、二十五日のイベント「クロスカルチャー2004」（加西市地域交流センター）のステージに出演する。軽快なリズムに合わせ、車いすの上で体をくねらせたり、手をたたいたりし、「とにかく楽しいし、頑張る」と練習に励んでいる。（中島摩子）



練習に励む■君とメンバーら＝加西市地域交流センター

ストリートダンスに出合ったのは八月。ダンスを通したまちづくりの一環として、車いす利用者の仲間も募っていた加西市のグループ「Doーit」を知り、母親の■さん（四二）の勧めで申し込んだという。

■君は練習に参加し、自宅でもビデオによって動きを復習。■さんは「学校以外は家にいることが多かった。ダンスは初めて自分から『続けたい』と言った。みんなの輪に入るのが楽しそう」と目を細める。

グループメンバーの北条高三年の岩井瑞帆さん（一八）、短大一年の深田容子さん（一九）の三人で、新たなグループ「FreーS（フリーエス）」も結成。■さんは「一緒に体を動かし、笑顔を交わしたら、車いす利用のメンバーとの間に壁は全然なかった」と話す。

■君は、動かしづらいという両手を上げ、体を揺らし、リズムを刻む。深田さんら二人は■君を囲んで、立ったり、いすに座ったりして踊る。振り付けは三人で考えた。「車いすで回ったら？」と■君も提案するなど、練習場に笑顔は絶えない。

イベントは午後六時に開幕。FreーSのダンスは約三分間といい、「笑顔いっぱいの楽しい踊りを披露したい」と岩井さん。■君は「リズムに合わせるのは難しいが、もっと上手になりたい」と話している。同交流センター☎0790・42・0106